青ヶ島の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

８月 26 日に海上保安庁によって確認された青ヶ島の南東沖（島の南端から南東方向に約 1300m 付近）の変色水は、本日（９月 21 日）の上空からの観測では認められず、海域で噴火が発生する兆候はありません。８月 29 日に船舶向けに発表した海上警報を本日 17 時 20 分に解除しました。
引き続き、地震活動や地殻変動にも特段の変化は観測されておらず、島内でも噴火が発生する兆候は認められません。

○ 変色水の状況

・変色水の状況（図１～６）

本日（21 日）、東京都及び警視庁の協力を得て実施した上空からの観測では、８月 26 日に海上保安庁によって確認された島の南東沖（島の南端から南東方向に約 1300m付近、水深 63m）の変色水は認められませんでした（図１）。

従来から変色水が見られる島の北端の海岸付近では薄青色の変色水（図３）が、島の南東端東側の海岸付近では茶色の変色水（図５）が確認されました。

○ 活動概況

・表面現象・地震や微動の発生状況・地殻変動の状況（図７、８）

手取山（丸山の北北西約１km）に設置してある遠望カメラによる観測では、丸山西斜面に噴気は認められていません（図７）。

青ヶ島付近を震源とする火山性地震及び火山性微動は観測されていません（図８－①）。

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は観測されていません（図８－②）。

・噴気の状況

９月５～６日にかけて、丸山の西斜面とカルデラ内壁（北西～西）の噴気調査を実施しました。調査地点（全３点）の噴気はいずれもごく少量で、前回調査時（今年２月）よりも減少していました。噴気温度はいずれも前回調査時と概ね同程度（約 73～100℃）でした。

以上のことから、噴火が発生する兆候は認められません。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。

※この記号の資料は気象庁のほか、海上保安庁、国土地理院及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

図１　青ヶ島　島の南端から南東方向の海面の状況（西方向から撮影）

・８月 26 日に海上保安庁によって観測された島の南東沖（島の南端から南東方向に約 1300m付近）の変色水（図２参照）は、本日の観測では認められませんでした。

図２※　青ヶ島　８月 26 日に観測された島の南端から南東方向の変色水（西方向から撮影）
2012 年８月 26 日　海上保安庁撮影

図３　青ヶ島　北端の海岸付近の変色水（北端付近を西方向から撮影）
・本日の観測では薄青色で幅 30m程度の変色水が確認されました。

図４※　青ヶ島　北端の海岸付近の変色水（北端付近を北方向から撮影）
2012 年８月 26 日　海上保安庁撮影

図５　青ヶ島　南東端の海岸付近の変色水（南東端付近を南方向から撮影）
・本日の観測では茶色の小規模な変色水が２箇所確認されました。

図６※　青ヶ島　南東端東側の海岸付近の変色水（南端付近を南東方向から撮影）
2012 年８月 26 日　海上保安庁撮影

図７　青ヶ島　丸山西斜面の状況
（2012 年９月 20 日　手取山遠望カメラによる）

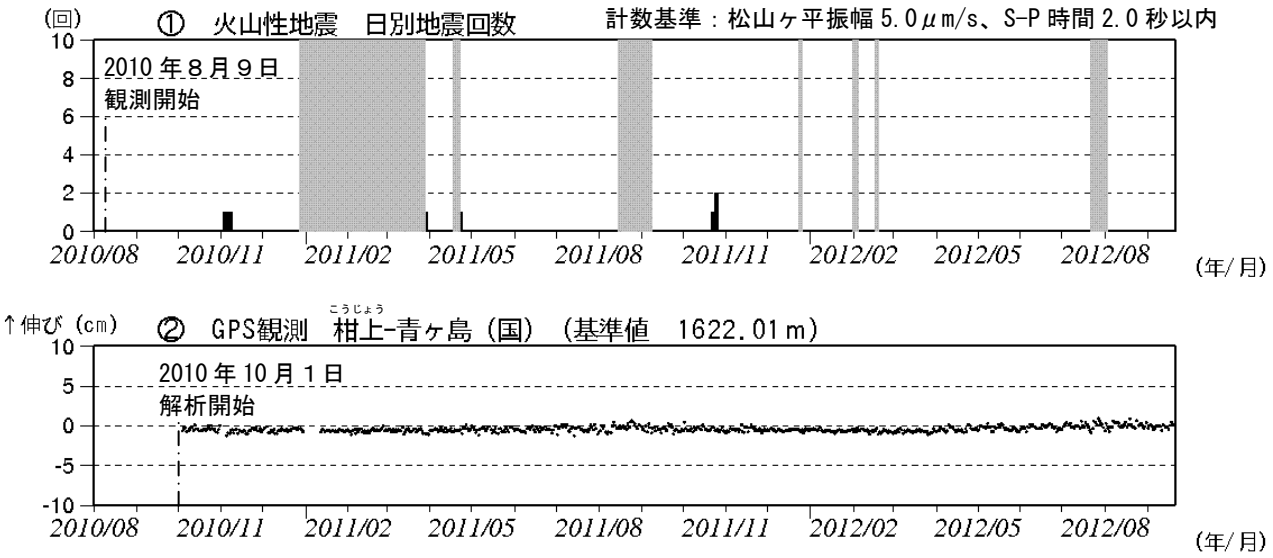
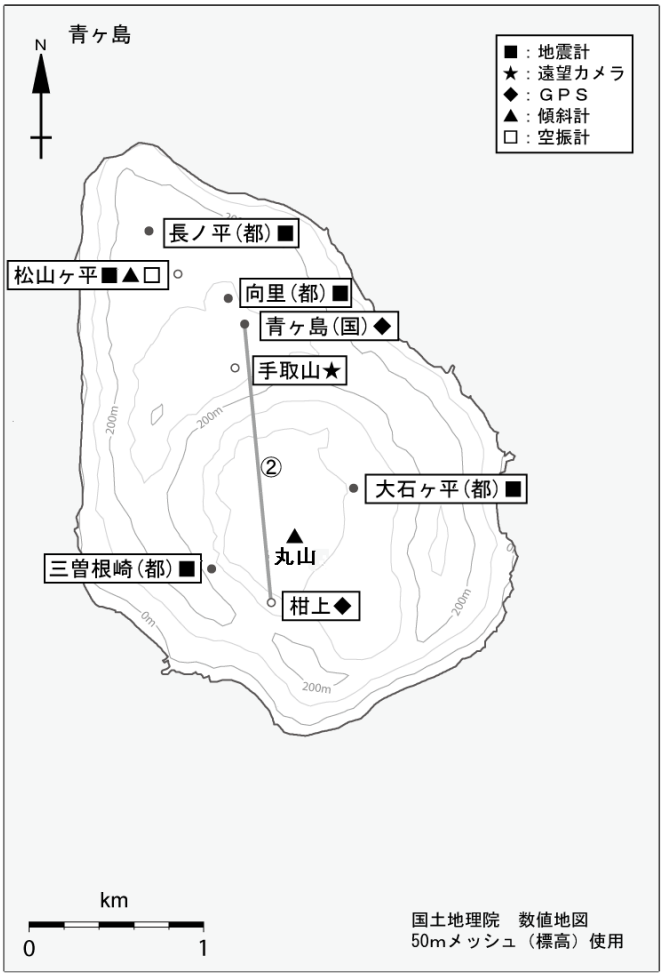


図８　青ヶ島　火山活動の推移（2010 年８月９日～2012 年９月 20 日）
①　青ヶ島周辺の日別地震回数
　グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。
②※ GPS 連続観測による基線長変化　（国）：国土地理院
　②※は図９の GPS 基線に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（都）：東京都

図９　青ヶ島　観測点配置図
GPS 基線は図８の②※に対応しています。

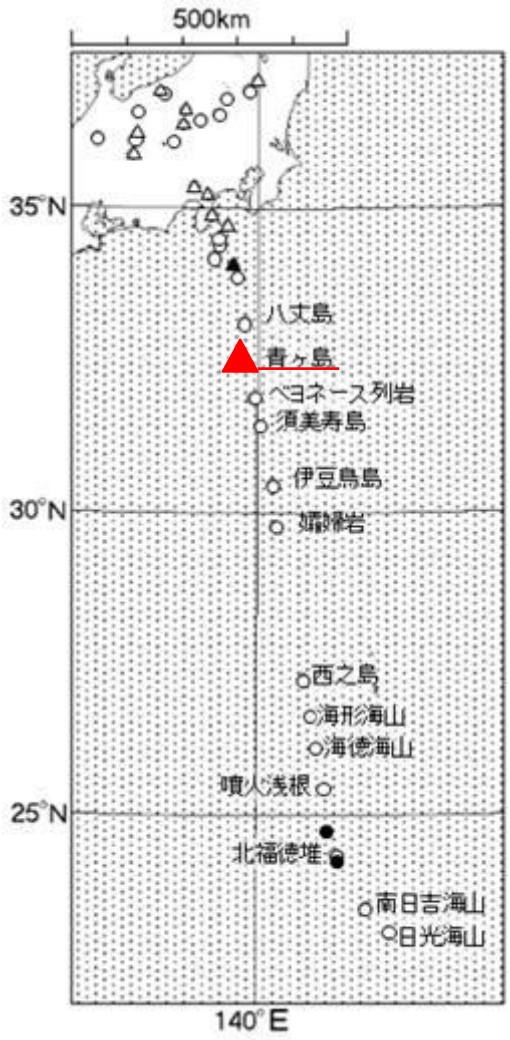


図 10　青ヶ島の位置